

# なし管理情報 No.7

令和6年8月26日  
下野方梨組合  
魚津市農業協同組合  
富山県新川農林振興センター



## 1. 生育概況

### (1) 「幸水」の収穫時期と果実品質

- ・収穫開始は、8月7日頃で、前年並みで、平年に比べ4日早かった。
- ・収穫盛期は、8月23～26日頃の見込み（前年8/23、平年8/23）。
- ・収穫盛期頃の果実品質は、肥大は前年並みで平年に比べやや不良、果実硬度、酸度、糖度は前年より低いが、平年に比べ高かった。

### (2) 他品種の生育

- ・「豊水」、「あきづき」は、前年、平年より大きく、果実肥大は概ね良好（果樹研究センター）。

## 2. 病虫害防除

### <発生状況>

- ・【黒星病】8/21時点での産地全体の発病果そう率は28.7%で、収穫時の調査ではR2年以降最も高かった。前回調査（8/11）からおおむね横ばいで推移している（別紙参照）。
- ・【カメムシ類】8月以降の誘殺数は、多発年並み。果実の吸汁被害は、平年に比べ多い。
- ・【ナシヒメシンクイ】第4世代の誘発数は平年並み。「幸水」の果実被害は少～中発生。
- ・【ナミハダニ】梅雨明け以降の高温少雨により中発生。前年より少ない。

### <防除のポイント>

- ・（黒星病対策）発生が平年に比べ多い園地では、罹病葉の摘み取りの継続に加え、秋型病斑葉の増加を抑えるため、「幸水」収穫後にナリアWDG（2,000倍、収穫前日まで、3回以内）の特別散布を行う。
- ・（シンクイムシ類対策）「豊水」等、中生品種で被害が懸念される場合は、アグロスリン水和剤（2000倍、収穫前日まで、3回以内）または、サムコルフロアブル10（5,000倍、収穫前日まで、3回以内）を散布する。  
※ハダニ類が多発している園では、ハダニ類の天敵にも影響があるアグロスリン水和剤をサムコルフロアブル10に変更する（サムコルフロアブル10はR6防除暦にない特別散布）。
- ・（ハダニ類対策）発生が見られる場合、早めにカネマイトフロアブル（1,000倍、収穫前日まで、1回）を特別散布する。  
※既にカネマイトフロアブルを散布している園で、今後も殺ダニ剤の散布が必要な場合は振興センターにご相談ください。

## <薬剤防除>

回数	散布時期	散布薬剤と希釈倍率		10a当たり散布量	対象病害虫	実施日 (自己記入)
特散	8月末～9月上旬 「幸水」収穫後 速やかに	<b>ナリアWDG*</b> 展着剤 マイリノー	2,000倍 20,000倍	350ℓ	黒霉病	
特散	8月末～9月上旬 「幸水」収穫後 速やかに	<b>アグロスリン水和剤*</b>  または <b>サムコルフロアブル10*</b> (ハダニ類、カメムシ類が 発生していない場合) 展着剤 マイリノー	2,000倍 5,000倍 20,000倍	350ℓ	シクヰムシ類 カメムシ類 シクヰムシ類	
特散	ハダニ類 発生時	<b>カネマイトフロアブル*</b> 展着剤 マイリノー	1,000倍 20,000倍	350ℓ	ハダニ類	

※ナリアWDG、アグロスリン水和剤、サムコルフロアブル10、カネマイトフロアブルは**収穫前日まで散布可能**（サムコルフロアブル10はR6防除暦にない特別散布）。

※ナリアWDGは、サムコルフロアブル10、アグロスリン水和剤、カネマイトフロアブルと混用可能。  
サムコルフロアブル10とカネマイトフロアブルは混用可能。

使用前に農業ラベルの登録内容をよく確認して使用してください。

## 3. 今後の管理

### (1) 土壌水分管理

- 7月30日の36ミリの降雨以降、8月21日までの合計降水量は10ミリで（アメダス魚津）、平年に比べかなり少ない。土壌が乾いている場合、中生品種に対し、少量のかん水をこまめに行う。

### (2) 中生品種の収穫

- 「豊水」は、近年みつ症の発生が多い傾向があることから、収穫遅れに注意する。

### (3) 礼肥の施用

- 翌年の花芽の充実と貯蔵養分の蓄積を促進するため、礼肥を2回に分けて施用する。
- 施用総量：硫安20～30kg/10a
- 施用時期と施用量：
 

収穫終期	硫安10～20kg/10a
収穫終了直後	硫安 10kg/10a

### (4) 台風対策

- 台風シーズンに入っているため、今後の「台風情報」に注意し、収穫作業、果樹棚の点検、棚の振れ防止対策などを計画的に講じる。

<問い合わせ先>JAうおづ 営農課 吉崎 24-9923